

ATTENTION

株はずっと持っているほうがよほど良い結果になる！

年率利回り10%、税率20%		0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	税引利回り
A	1000000	1080000	1166400	1259712	1360489	1469328	1586874	1713824	1850930	1999005	2158925		8%
B	1000000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2274994	8.6%
A:毎年1回売り買いするケース													
B:10年持ち続け、10年後に売るケース													

この表は、10年間同じ利回りでも、投資の仕方によって、その成果がどれだけ違うかを見たものです。100万円投資して、毎年の利回り10%で10年運用するというケース。Aは毎年10%の利回りで利益を確定してまた買戻し、10年投資を続けるケース。Bは同じ利回りでも10年持ち続けて、10年後に売るケース。10年後の額は同じかという、違います。116,069円の差になります。投資元本から見れば11.6%の違い。税引き後利回りを見れば、年率0.6%の違いになります。ずっと何もしないで持っていたほうが、毎年売って買って、大変な手間を取るより、利回りは高いのです。これが課税の繰り延べ効果といわれるものです。

さらにここでは、売買手数料が入っていません。毎年売って買っての手数料で年に1%(0.5%×2)の手数料が上乗せされるとすると、毎年売買する場合の利回りは8%−1%で7%、一方でずっと持っていた場合の売買手数料は10年で1回の売り買いの1%のみ、1年で0.1%しか引かれないので8.5%。年率1.5%の差になります。手数料も考慮すると毎年売買した場合には10年後元本は1,967,115円、ずっと持っていると2,254,739円。その差は287,624円と大きな開きとなります！

さらに10年の間にはコロナショックやリーマンショックのように大きく下げることがあり、そういう時には心配になって安値で売り、上がっている時は早く利益を確保したりして、なかなか毎年、平均10%の利回りは取れません。余計な心労も加わり、まったく割の合わない投資となってしまいます。しっかりとよい銘柄、よいポートフォリオで足元を固め、じっくり持ち続けていたほうが、パフォーマンスははるかによく、日ごろの心持ちもよほど良い結果になるでしょう。

COLUMN

日銀ETF買いは大変な間違いだった！

このところ日銀の日本株ETF買いが細っています。4月以降、4月、6月、9月各1回の2103億円の買いのみです。やっと「ETF買いの愚」に気づいたのででしょうか。9月に入り、日経平均は一時31年ぶりの3万円超えたのは、外人が積極的に買ったからです。4月から8月まで4,600億円の売り越しだったのが、9月に入って10日までに6000億円以上買っていました。政権交代という起爆剤があったのは確かですが、一方で、日銀がいくら買っても上がらなかったのに、外人が買えば、すぐ上がるという構図です。これは何を意味するか、株価操作的な買いは見透かされて、売り呼び、純粋な投資が買いを呼ぶということです。さて、いま日銀が抱えているETFは50兆円。これまで10年で日銀が払った日本株ETFの信託報酬(運用費用)は2000億円といわれています。国立競技場1つ分が軽くできます。また日銀の大量買いでETFの信託報酬は高止まり、保有額の増加で、持っている間ずっとかかる年間コストは1年で700億円を下らないでしょう。5年持ち続ければ3500億円。これは大変な額です。そしてこれはすべて国民負担なのです。ところで、この費用が全く掛からない簡単な方法があります。全部、現物株にすればいいのです。直接株を保有すれば、高い信託報酬を払う必要はまったくありません。一方で、直接保有にすれば、株主権行使する必要があります。これを回避するのがそもそもの動機で、ETF買いにしたのでしょうか。あまりにも安易な選択です。巨額の国民負担を続けるか、株主権を行使して国民負担をなくすか、こういう選択肢しかない状態は、中央銀行が行うべき政策ではありません。

MARKET

	(9月末)	(8月末比)
日経平均	29,452.66円	+1,363.12円 (+4.85%)
NYダウ	33,843.92ドル	-1,516.81ドル (-4.29%)
米ドル	111.35円	+1.30円 (+1.18%)

私の書棚より

何物にもまして私が自分自身に課しているのは、自らの考えに忠実に生きることである。 -ユリウス・カエサル

ローマ人の物語 V
ユリウス・カエサル ルビコン以降
塩野七生著

ストレスを乗り切る方法- 受け入れる

現在のようにストレスが続く時期に、いかにそれを乗り切るか、ウォールストリートジャーナルに、大変参考になる記事が掲載されていましたので、紹介しましょう。

そのポイントは“いま自分がいる状況を理解し、それと共に生きる”ということです。この記事で、多くの心理学者がいうポイントは“受け入れる”ということ。楽しい気持ちも不快な気持ちも、みんな受け入れるということ。そうすることにより、心配が少なくなり、気持ちが軽くなり、打ち勝ちやすく、前向きになるということです。ただし「訓練」が必要です。ポイントは、無理にこうするべきとかなんでも肯定的になれとかというのではなく、現状をよく認識し「つらい時でもいいこともある」という気持ちを持つことと、その訓練。この“受け入れる”ための方策を紹介しましょう。

・ゆっくりとペースを落とす

一日すごいペースで仕事をしてしまい、終わった頃に疲れ果てるということがよくあります。これが慢性的ストレスをもたらす元となります。一つの仕事が終わったら、3回深呼吸して心拍を聴く。そうすると、ストレスがすーっと引いていくのを感じるようになる。そして次の行動はゆっくりやるようにする。これを繰り返す。そうすると、ストレスが抜け、物事にじっくり取り組めるようになるということです。

・マントラ(祈りや瞑想で唱える呪文のような言葉)を作る
脳がマイナスのスパイラルに入ったり、冷静・沈着な思考ができなくなってしまうとき、マントラが威力を発揮するそうです。たとえば「いまはやらなくていい、落ち着きなさい」「これが起きていることだ。だからできること

だけをやればいい」と繰り返し唱えたりすると、かえって落ち着いて冷静な判断ができたり、別の良い考えが生まれてきたりするということです。

・自分に距離を置く

ストレスが強い状況に陥ると、他のことが目に入らなくなることがよくあります。こういうとき、“言葉による遠ざけ”とって、距離を作るために、あたかも他人のように、自分に語り掛けるのです。「峰男さん(私)、いまは大変だけど、大丈夫だよ。きっと良くなる。」あたかも友達に語り掛けるようにするのです。これも効き目がありそうです！ 自分自身より、他人に対しての方がより正確なアドバイスができる傾向があり、その他人に自分をしてしまうのです。

・よき思い出や成功体験を踏み台にする

「目を閉じてよかった思い出を思い出す、その時いた人たち、風景、成功体験を描き出す」そしてそのよかった思い出や成功体験を踏み台にして、これからの行動に移す。たとえば、私はこの8月、900ページの専門書を1か月で読み終わりました。これをばねに、塩野七生著ユリウス・カエサル(上・下)計900ページ超も読破しました！

・夕暮れを見るときに感じる心持ちを素直に受け入れる
きれいに日が沈むのを見ていると、喜び、畏敬、平穏や静謐を感じます。また一方で、寂しさ、儂い思いを感じることもあるでしょう。太陽が沈むのを見るたびに、思いは決して同じではありません。この夕暮れモードは、様々な感情をありのままに受け入れるようにすることです。人生には喜び、悲しみが入り混じっていますが、そのすべてを素直に受け入れる。とても深い感じがします。

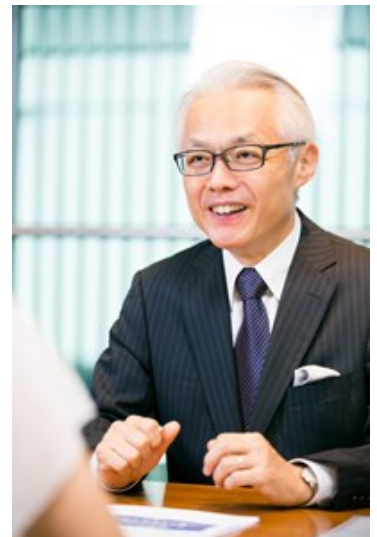
まかせて安心、資産運用のホームドクター

- 大切なお金を間違いない方法で運用しているのか、心配になることはありませんか。
- 退職後のセカンドライフを、お金の心配なく、ゆとりを持ってお過ごしですか。
- 仕事が忙しくて、なかなか運用まで手が回らないということはありませんか。
- 銀行や証券会社が勧めるままに、株や投資信託を購入していませんか。

金融商品の中身や手数料がどうなっているか、きちんと把握していますか。

びとうファイナンシャルサービスは、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザーです。その強みを生かし、お客様に、客観的で、公正・中立なアドバイスを提供しています。手数料が高く売りやすい商品をお客様に売っていただくのではなく、お客様にもっとも適した金融商品をお客様にベストのアドバイスを提供しています。

びとうファイナンシャルサービスは、お客様の目標や夢の実現のため、40年を超える長い経験と深い専門知識、高い倫理観をもとに、お客様の利益のみに目を向けたサービスを提供しています。たとえるなら、多くのお客様の人生という航海で、無事に目的地に到着する大型客船であり、いつもお客様の資産運用という面で健康管理をするホームドクターです。



びとうファイナンシャルサービス
代表 尾藤 峰男
公認投資助言者(RIA)

びとうファイナンシャルサービス 公式HP

<http://www.bfsc.jp>

あなたの資産運用を成功に導くメルマガ！

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

発行者：びとうファイナンシャルサービス
代表取締役 尾藤峰男

電話：03-6721-8386

携帯：070-5567-3311

電子メール：info@bfsc.jp